

| 看護学科 | | | | 2年 | | |
|---|---|-----------------------------------|---|---|---------------------|--|
| 科目名: 小児看護学援助論Ⅱ | | | | 担当教員氏名: 古里 直子、平井 宏衣、北澤 由実子 | | |
| 単 位 | 開講時期 | 科目の区分 | 授業方法 | (卒業要件) 必修/選択 | 備考 | |
| 1 | 2年次 後期 | 専門科目 | 演習 | 必修 | | |
| 実務経験を用いてどのような授業を行っているか: | | | | 看護師の実務経験を活かして、対象の理解と看護技術の実際について講義を行う | | |
| 授業科目の学習教育目標の概要: | | | | キーワード | | |
| ・前期の小児看護学の内容をふまえ、健康問題がある小児と家族の看護技術を身につける。 ・事例を通して小児看護に必要な看護過程を学ぶことができる。 ・「子どもの最善の利益」を考慮した看護技術と知識の統合ができる。 | | | | 病気・障がい・健康問題・小児・家族・「子どもの最善の利益」・看護技術・看護過程 | | |
| 授業における学修の到達目標 | | | | | | |
| 学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連) | | 自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) | | 1. 2. 5. 6. 8. | | |
| A 知識・理解力 | ①病気や入院や病期別的小児と家族を支援するための看護技術を身につける。 | | | | | |
| C 論理的思考力 | ②小児期特有の症状や疾患をもつ小児と家族への支援技術を習得する。 | | | | | |
| B 専門的技術 | ③さまざまな状況にある小児と家族の現状を理解する。 | | | | | |
| D 問題解決力 | ④事例から疾患をもつ子どもと家族の看護についてグループ間で理解を深め、看護過程の考え方を知る。 | | | | | |
| F チームワーク・リーダーシップ | | | | | | |
| G 倫理観 | ⑤「子どもの最善の利益」を考慮した臨地実習の準備ができる。 | | | | | |
| 成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする | | | | | | |
| テスト: 60% | レポート: 15% | 発表: 15% | 課外活動: % | その他(演習態度): 10% | | |
| 特記事項: アクティブ・ラーニング | | | | | | |
| グループワークにおける態度・取り組み姿勢や課題内容について評価する | | | | | | |
| アクティブラーニング要素: 課題解決型学習、ディスカッション、ディグループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク | | | | | | |
| テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 各単元終了後に確認テストまたは、グループ発表・技術チェックを成績の評価とする。 | | | | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストや提出レポートに評価の数値化やコメントを記載して返却。 | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習 等) | | | |
| | | | 学 習 内 容 | | 学 習 に 必 要 な 時 間 (分) | |
| ①【古里】事例による看護過程の展開:情報の説明 | | | 【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】配布資料の確認と復習 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ②【古里】事例による看護過程の展開:看護過程 | | | 【予習】テキストの該当箇所や配布資料を読む・図書館などで参考図書を活用し、課題シートの記入 【復習】看護過程に用いるシートの記入と修正の繰り返し(つくり・つくりかえ・つくる) | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ③【古里】事例による看護過程の展開:看護過程 | | | 【予習】グループ発表に向けて、担当箇所の発表資料作成 【復習】他のグループと学びを共有する | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ④【古里】事例による看護過程の展開:看護過程から立案した看護計画(グループ発表) | | | 【予習】グループ発表に向けて、担当箇所の発表資料作成 【復習】他のグループと学びを共有する | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑤【古里・平井】乳幼児ふれあい体験:グループに分かれて演習 | | | 【予習】テキストの該当箇所を読む。事前課題の記入 【復習】配布資料の確認と復習 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑥【古里・平井】乳幼児ふれあい体験:グループに分かれて演習 | | | 【予習】テキストの該当箇所を読む。事前課題の記入 【復習】配布資料の確認と復習 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑦【古里】事例による看護過程の展開:看護過程から立案した看護計画(グループ発表) | | | 【予習】グループ発表に向けて、担当箇所の発表資料作成 【復習】他のグループと学びを共有する | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑧【古里】事例による看護過程の展開:看護過程から立案した看護計画(グループ発表) | | | 【予習】グループ発表に向けて、担当箇所の発表資料作成 【復習】他のグループと学びを共有する | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑨【古里】小児看護学①第4章 こどものアセスメント | | | 【予習】テキスト付属のDVD視聴テキストの該当箇所を読む・課題シートの記入 【復習】配布資料の確認と復習・安全・安楽・確実に技術が実施できるよう、再度DVD・テキストにて技術の留意点を確認 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑩【古里】小児看護学①第5章「症状を示す小児の看護」 | | | 【予習】テキスト付属のDVD視聴テキストの該当箇所を読む・課題シートの記入 【復習】配布資料の確認と復習・安全・安楽・確実に技術が実施できるよう、再度DVD・テキストにて技術の留意点を確認 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑪【古里】小児看護学②第2章 低出生体重児と家族の看護 | | | 【予習】テキスト付属のDVD視聴テキストの該当箇所を読む・課題シートの記入 【復習】配布資料の確認と復習・安全・安楽・確実に技術が実施できるよう、再度DVD・テキストにて技術の留意点を確認 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑫【古里・北澤・平井】小児看護技術演習 Aグループ:演習 Bグループ:小児看護学①第19章 事故・外傷と看護 一次救急処置・救命救急 | | | 【予習】テキスト付属のDVD視聴とテキストで技術のイメージ化。事前課題の記入 【復習】実施した技術の振り返り。気づきと今後の課題の明確化 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑬【古里・北澤・平井】小児看護技術演習 Bグループ:演習 Aグループ:小児看護学①第19章 事故・外傷と看護 一次救急処置・救命救急 | | | 【予習】テキスト付属のDVD視聴とテキストで技術のイメージ化。事前課題の記入 【復習】実施した技術の振り返り。気づきと今後の課題の明確化 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑭【古里・北澤・平井】小児看護技術演習 Aグループ:演習 小児看護学①第6章 Bグループ:検査・処置をうける子どもの看護 | | | 【予習】テキスト付属のDVD視聴とテキストで技術のイメージ化。事前課題の記入 【復習】実施した技術の振り返り。気づきと今後の課題の明確化 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| ⑮【古里・北澤・平井】小児看護技術演習 Bグループ:演習 小児看護学①第6章 Aグループ:検査・処置をうける子どもの看護 | | | 【予習】テキスト付属のDVD視聴とテキストで技術のイメージ化。事前課題の記入 【復習】実施した技術の振り返り。気づきと今後の課題の明確化 | | 【予習】60分 【復習】60分 | |
| 評価審査 試験 健康障害のある小児と家族の生活・療養するための看護過程や技術などを問う | | | | | | |
| 使用テキスト: ・系統看護学講座 小児看護学① 医学書院 ISBN 978-4-260-02002-2 ※1年次購入済 ・系統看護学講座 小児看護学② 医学書院 ISBN 978-4-260-01990-3 ・写真でわかる小児看護技術 改訂第3版 インターメディア出版 ISBN 978-4-8996-344-8 ・ナースの小児科学 中外医学社 ISBN 978-4-498-07579-5 ・子どもの検査値ノート 第2版 医学書院 ISBN 978-4-2601192308 | | | | | | |
| 受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・子どもの発達段階や身体的特徴をとらえた看護技術を考える場とする。 ・小児看護師として「子どもの最善の利益」を守る関わりができる知識・技術の習得を目指してほしい。 ・日程は講師の都合、学校の行事により変更することがあるため掲示板を確認を行う。 | | | | | | |
| その他参考文献など: 小児の疾患と病気の成り立ち等の医学書を参考にする。 | | | | | | |